



金沢龍馬會公式ホームページ開設!!

以前ドメイン名を取得しこの7月上旬に
金沢龍馬會公式ホームページが完成しました。

<http://kanazawa-ryomakai.c>

《盛会だった総会と講演会 報告》

～大坪さんの講演に拍手～

日時：6月13日（土）午後3：00～

会場：「桜はなび」金沢市本町 1-3-32

講演：雑誌「加能人」編集長 大坪信善氏

金沢龍馬會6月の総会は金沢市本町の「桜はなび」にて開催。青春の血？湧きたぎる〇〇名の男女会員が参加、大いに飲み語り楽しいひと時を過ごしました。

総会参加者：宮島/室岡/東/小屋/中川/玉井/蛭子/宇賀/中田/佐藤/島津/守山/大坪/吉田/紐野/高崎 /勝田/中城/寺元/松岡/朝日/周藤/北川/麻井/荒木/西（三）/小幡/西（和）の28名です

先ず当会顧問で金沢市長山野之義様より力強いメッセージをいただき一同感銘を受けました。

総会では吉田事務局長の挨拶のあと中川会長の司会で進行しました。

26年度議案審議：「事業報告、決算報告、監査報告」⇒拍手で承認

27年度議案審議：「事業計画案、予算案」⇒拍手で承認

27年度新役員案も拍手で承認されました。

この結果、平成27年度は、中川可能作（なかがわ・かのさく）会長を中心に副会長事務局長を含む執行体制で船出し、決定された事業計画案に基づき運営していく事となりました。

最後に中川会長は「金沢龍馬會は結成10年を越えた。新たな仲間たちとこれからは新しい会合のあり方など検討し、魅力ある金沢龍馬



會の立て直しを図り会員の増加に努めたい」と力強い挨拶があり無事に総会が終了しました。

お待ちかねの講演は、雑誌「加能人」編集長の大坪信善氏の「龍馬はジャーナリストだった」で熱く語られ聞く会員が多かったようです。

面白くユニークな視点からのお話しが有り講演後多くの質問が出ました。特に「もしも龍馬が生きていたら、何を聞きたいですか」のユニークな問いかけに大坪さんも楽しそう！

大坪さんの記者・編集者体験を交えての40年の記者生活に裏打ちされたお話は愉しくポールと五木のお話も愉快で、拝聴できました。有難うございました。

楽しい講演を聞いた満足感に浸り愉快的な雰囲気最高でした！！

このあと懇親会に移り龍馬について大いに語り飲み楽しい懇親の輪が広がりました。

会場で「金沢龍馬會会報4号夏季号」が配布され更に「金沢龍馬會公式ホームページ」のお披露目も有りました。



楽しいひと時はあっという間に時は過ぎ最後は金沢龍馬會のこれからの発展を祈って玉井さんの中締めとして連帯の意味を込めて三三七拍子で楽しい宴は無事に終了しました。

【会員のつぶやき】

“龍馬のように生きたい!!”

中田俊郎



東京から金沢の両親の許へ引っ越しして来て、早いもので5年経ちました。

現在月に1～2回東京の妻子のもとへ帰るのですが、北陸新幹線が開通して便利になりました。しかし時間もお金もそれなりにかかり物入り

りでいわば今風の参勤交代の様なもの。

小屋さんとVCC（NHK金沢ビデオクラブ）で出会い、その後すぐに金沢龍馬會にもお誘いいただき何のためらいもなく入会してこちらも4年ほど経ちました。

私は歴史が好きですが坂本龍馬に関する造詣は皆様に比べあまり深くありません。

しかし巷に言われる龍馬の生き方や考え方に共感しております。

「龍馬のように生きられたらいいなあ～」「龍馬のように人と人を結びつけるようになるためにもっと自分磨きしなければならぬなあ～」などと

良く考えます。

しかし考えているだけではダメです。行動しなければ何も変わらないということを真剣に考え行動して参ります。皆様のご指導を賜りたいと思ひます。

まるわかり「龍馬入門講座」⑤

これは2010年NHKテレビで放映された大河ドラマ「龍馬伝」が始まる前、坂本龍馬を紹介する為長崎国際観光コンベンション協会が作ったパワーポイントです。今回連載に際し吉田が若干編集しました。(本掲載は金沢龍馬会内部のみです)

⑭「海舟日記」によると軍艦奉行であった勝は、長州攻撃を構えている外国艦隊を慰留するのが目的で長崎へ龍馬達海軍塾の塾生と共に向かいます

1864年2月神戸を立ち15日佐賀関に到着し別府湾沿いに鶴崎へ向い、熊本で横井小楠に会、そして21日夜、熊本から島原へ船で渡り、早朝に内港に上陸し島原城下本陣：中村別当宅で休息し長崎へ向かいます。



愛津の庄屋宅で一泊し、翌23日に愛野から東長崎、日見峠を越えて長崎入りします。

長崎へ着いた龍馬たちは長崎奉行所で奉行に問いただすと外国船

はまだきてないというので、立山に上り港内を見下ろし外国船を確認したとあります。

その時、勝たちは長崎の福濟寺を宿とし40日間長崎に滞在しました。

⑮余談ですが、蛤御門の変の際、加賀藩の14代藩主となる前田慶寧(よしやす)が若様のとき京都におり、長州と結び、天皇拉致(奪取)計画に協力し行動したと噂されましたが、長州が負け幕府に叱責され前田慶寧は金沢に戻され金谷御殿で謹慎、部下42名は処分されました。

これで加賀藩の勤王派は壊滅し、幕末に乗り遅れたといわれています。

⑯このあと、弾圧が激しさを増していた京都の尊攘過激派を救うべく、蝦夷地の移住計画を開始しますが、池田屋事件により頓挫します。この事件は龍馬の人生にも影響します。



池田屋での報復である「禁門の変」に海舟の海軍塾塾生が多数含まれていたために幕府から弾圧を受けます、操練所は廃止され、勝は海軍奉行を解任されます。

勝の紹介で西郷隆盛を頼り大阪の薩摩藩邸に保護されます。鹿児島へ行った龍馬は、ここから飛躍が始まります。「続く」(記：吉田信夫)

《近畿・ブロック大会報告》

6月27日富山市で近畿・北陸ブロック大会がありました。金沢龍馬会より4名が参加。全国龍馬社中副会長牧田活宜氏、富山龍馬会会長杉田欣次氏、富山龍馬会事務局長で全国龍馬社中理事大塚研吾氏より発言があり、その後ブロックの各龍馬会より活動報告がありました。富山市郷土博物館を見学、学芸員より説明を受けました。その後、懇親会に参加して楽しいひと時を過ごしました。

《第27回全国龍馬ファンの集い 高知大会のお知らせ》

全国龍馬ファンの集い高知大会の概要をお知らせいたします。

日 時：11月14日(土) 12:00～
会 場：高知市文化プラザかるぽーと
懇親会：桂浜

<http://www.welcome-kochi.jp/>

更なる明細と申し込み方法は後日連絡します。

【新入会員】

92 西 和治

【編集後記】

6月総会も盛況のうちに終わり今月9月は「北陸三県交流会」。会報も第5号が完成、漸く皆さまにお届けすることが出来ました。これからも楽しい会報作りを目指したいと思っています。

***** 事務局 *****

金沢龍馬会

会 長：中川可能作
事務局長：吉田信夫

080-5600-1113

jitianxinfu@hotmail.com

会報担当：中田俊郎 090-7806-2269

n-toshio@muji.biglobe.ne.jp

金沢龍馬会 facebook

<https://www.facebook.com/kanazawa.yomakai?sk=wall&filter=2>

